

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 6 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農山村振興費

事業名 【新】ニホンザル対策推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農村振興課 鳥獣害対策係 電話番号：058-272-1111(内4172)

E-mail：c11427@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 15,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	15,000	0	0	0	0	0	15,000	0	0
決定額	15,000	0	0	0	0	0	15,000	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 令和 5 年度の県内におけるニホンザルによる農作物被害額は31,908千円となっており、イノシシ、ニホンジカに次いで3番目に被害が大きい(県全体の 14%)。
- ニホンザルは群れで行動し、地域によっては農作物被害だけでなく林業や人的被害に及んでいる。
- ニホンザルによる農作物被害等を減少するためには、個々の農業者による対策だけでは限界があるため、住民等が協力して地域ぐるみで対策を実行することが有効であり、その活動に対し支援が必要である。

(2) 事業内容

ニホンザルによる農林業被害を減少させ、地域住民が安心して暮らせる農村集落づくりと野生鳥獣との共生を図るため、地域協働によるニホンザル対策を実践する団体等に対して活動費を助成する。

<対象団体> 自治会、改良組合、各種団体(JA、猟友会、森林組合など)

(3) 県負担・補助率の考え方

各種団体がニホンザル対策を実践するための経費を県が支援

- ・補助率 定額
- ・補助限度額 1,500千円／1団体

(4) 類似事業の有無

有 「安心と共生のニホンザル対策事業費補助金」

各種団体からニホンザル対策のアイデアを募集し、提案された活動に対して県が支援

- ・補助率 定額
- ・補助限度額 3,000千円／1団体

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	15,000	各種団体によるニホンザル対策の実践を支援（10団体）
合計	15,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- 第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル） 2023(R5)年4月1日～2028(R10)年3月31日
- 鳥獣被害防止特措法に基づく市町村被害防止計画（県内35市町村が策定）

(2) 国・他県の状況

29府県で第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル）策定（R6.5現在）

各府県において、第二種特定鳥獣管理計画及び各市町村が策定する被害防止計画に基づき、ニホンザルを含む各種加害鳥獣に対する捕獲、防護、環境管理に係る取組みを実施。

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥当性

ニホンザルによる直接の農林業被害を受けている自治会、J A、森林組合等の団体が事業実施主体となるのは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ニホンザル対策推進事業費補助金
補助事業者（団体）	自治会、改良組合、各種団体（J A、猟友会、森林組合など） （理由）ニホンザルによる被害を受けている地域において、地域ぐるみの対策活動が求められる。
補助事業の概要	（目的）ニホンザル対策のモデルを構築する。 （内容）ニホンザルによる農林業被害が発生している地域において、被害減少に向けて各種団体が実施する創意と工夫のアイデア活動に対して支援。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）上限1,500千円×10団体等 （理由）各種団体が行うニホンザル対策活動に必要な経費
補助効果	獣種別の被害対策モデルの構築
終期の設定	終期令和9年度 （理由）第二種特定鳥獣管理計画（ニホンザル）の目標年

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
ニホンザルによる農作物被害を減少させる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
ニホンザル対策 モデルの選定	0			3	(累計) 9	

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	ニホンザルによる農作物被害は営農意欲の減退を招いている。 またその実態は地域によって様々であることから、効果的な対策を考える 新たな取組みが必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ニホンザルによる農作物被害は依然として高い水準で発生しており、地域条件に合わせた支援が必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ニホンザルによる農林業への被害は大きく、各市町村、農林業関係者並びに地域住民からの要望が多い。
--